

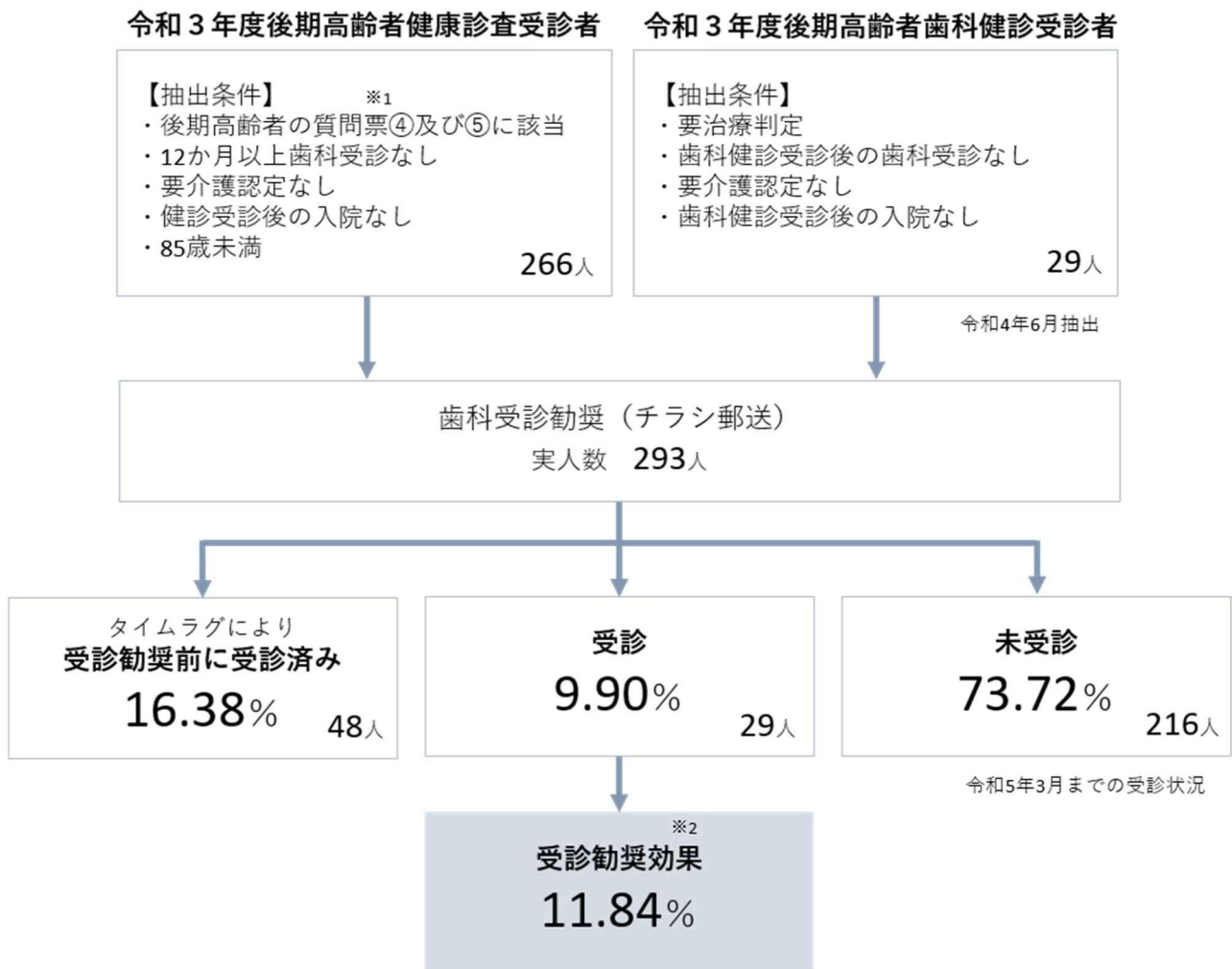
## 口腔機能低下に関するハイリスク高齢者を対象とした歯科受診勧奨について

### 1 概要

口腔機能低下は、フレイル、要介護状態のリスクを高めることが示されている。

口腔機能低下に関するリスクが高いにもかかわらず歯科受診歴のない後期高齢者を歯科受診につなげることで、歯科医師による適切な評価・介入を受け、口腔機能低下防止を図り、フレイルを予防することを目的に歯科受診勧奨を行った。

### 2 実施内容・結果



※1 後期高齢者の質問票

④半年前に比べて固いもの(\*)が食べにくくなりましたか\*さきいか、たくあんなど

⑤お茶や汁物等でむせることがありますか

※2 受診勧奨効果

タイムラグにより受診勧奨前に受診済みだった48人を除く245人に対して、受診勧奨後に受診した者の割合

### 3 課題

- ・チラシの郵送だけでは歯科受診勧奨の効果は得られにくかった。
- ・まずは健診受診率の向上のための取組みやかかりつけ歯科医を持つことの重要性についての周知が必要。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者健康診査受診率	9.79%	9.96%	13.00%
後期高齢者歯科健診受診率	8.75%	7.56%	6.50%

お口の困りごと

# 歯医者さんに相談してみませんか？



お口の変化に心当たりはありませんか？

以前に比べて

固いものが  
食べにくい



お茶や汁物等で

むせる

お口の渇き

が気になる

お口の機能が衰えてきているサインかもしれません。

お口の機能が衰えると、栄養が十分に取れなくなり、体力や免疫力の低下、転倒、骨折などの原因となります。また、会話や外出の機会が減り、精神的な活力を失うことにもつながります。

お口の機能の衰えを年齢のせいだからと放っておくと、全身の健康状態の悪化や要介護状態へのリスクが高まります。一度、歯医者さんで相談してみませんか。



イラスト協力：Yuriko R.

北九州市認知症支援・介護予防センター

北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号 総合保健福祉センター

電話：(093) 522-8765